



取扱説明書

お使いになる前にこの取扱説明書を
必ずお読みください。

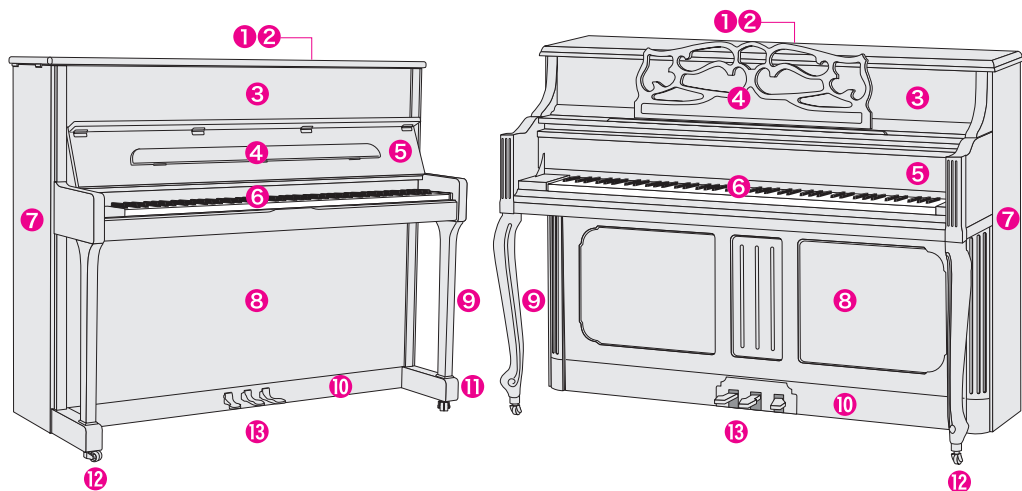
- ◆このたびは、ピアノをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
こちらの取扱説明書は使い方がわからない時や調子の悪い時にお役に立ててください。
- ◆ピアノ本体に付属している保証書は大切に保管して下さい。
保証書はピアノ内部のホルダーまたは、ピアノ背面に保管されています。

目次

1 各部のなまえとはたらき	1
2 安全のために必ずお守りください	3
安全へのこころがけ	3
3 よりよくご活用いただくために	7
納入点検調整について	7
ピアノには調律が必要です	7
定期調律のおすすめ	7
設置と取り扱いについて	8
ご家庭でのお手入れについて	11
4 音のマニュアル	12
音へのおもいやり	12
守りたい音のエチケット	13
具体的な防音・遮音のヒント	14
5 困ったな／故障かな？と思ったら	15
6 保証とアフターサービス	16
7 島村楽器の防音加工のお知らせ	17

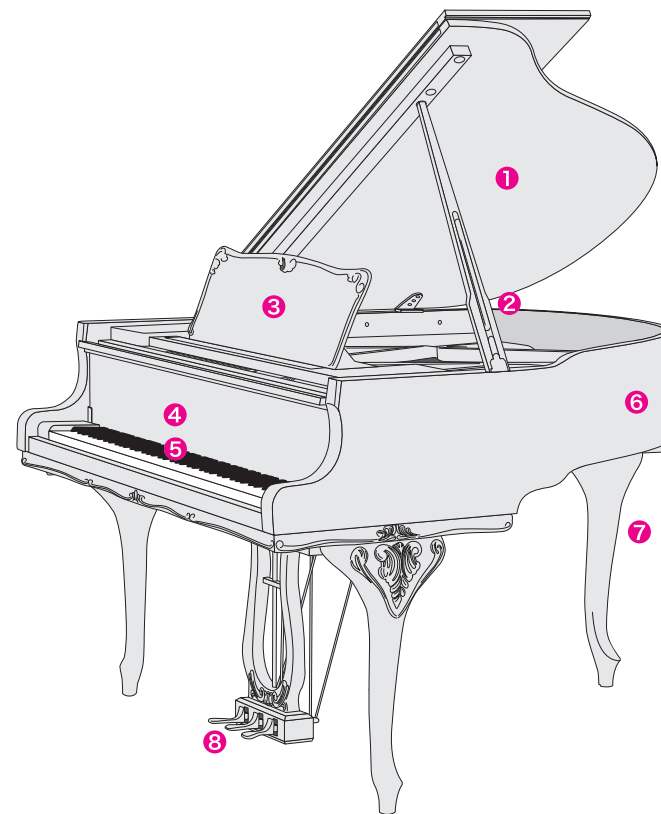
保証書別添

アップライトピアノ



- ① 屋根
- ② 品番・製造番号
屋根を開けてご覧ください。
- ③ 上前板
- ④ 譜面板(台)
起こして楽譜立てに使用します。鍵盤蓋を閉める際は最後まできちんと折りたたんでください。
- ⑤ 鍵盤蓋
手を離してもゆっくり閉まるスローダウン機構がついています。
※スローダウン機構がついていないピアノもあります。
- ⑥ 鍵盤
- ⑦ 親板
- ⑧ 下前板
- ⑨ 脚
- ⑩ 前土台
- ⑪ 裏土台
- ⑫ キャスター
- ⑬ ペダル
左: ソフトペダル
ペダルを踏み込んでいる間、弾いた音を弱くします(弦を打つハンマーの運動距離を短くします)。
中央: マフラーペダル
ペダルを踏んで左にスライドすると弱音状態に固定されます。解除はペダルを右にスライドして元に戻します。(薄いフェルトを介してハンマーが弦を打つので音量が減少します)。
右: ダンパーペダル
ペダルを踏み込んでいる間、止音機構(ダンパー機構)が解除され、弦の振動を止めずに音を響かせることができます。

グランドピアノ



- ① 屋根
突上棒を起こし、支えてください。
- ② 突上棒
突上棒と屋根の角度を必ず 90 度になる位置に合わせてご使用ください。
- ③ 譜面台
- ④ 鍵盤蓋
- ⑤ 鍵盤
- ⑥ 側板
- ⑦ 脚
- ⑧ ペダル
左: ソフトペダル
ペダルを踏み込むと打弦位置が右にずれ、音量と音色を微妙に変化させることができます。
中央: ソステヌートペダル
鍵盤を押した後でこのペダルを踏むと、指を離してもその弦の音だけを響かせることができます。
右: ダンパーペダル
ペダルを踏み込んでいる間、止音機構(ダンパー機構)が解除され、弦の振動を止めずに音を響かせることができます。

安全へのところかけ

ピアノは大きくて重いものですので、室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にお使いいただくための注意が必要です。

小さなお子様には、はじめにご家族の方から教えてあげてください。

この項目では、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を説明しています。

ピアノを使用する前に必ずお読みください。

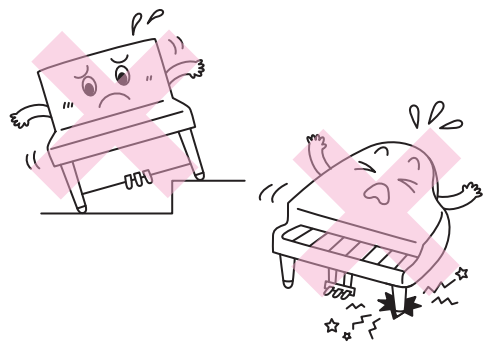


このマークは注意喚起マークです

ピアノを使用する前に必ずお読みください

設置の注意

⚠️ 平らで丈夫な床に設置してください



不安定になったり、転倒する恐れがあります。
ピアノのおよその重量は下記のとおりです。

	アップライトピアノ	グランドピアノ
小型	200kg	290kg
中型	250kg	320kg
大型	270kg	400kg

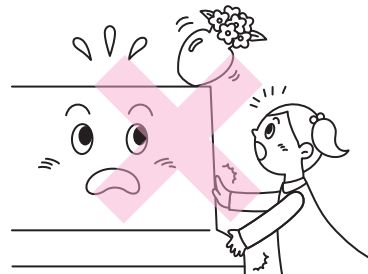
⚠️ 床を汚したり、傷つけたりしないように設置してください



キャスターを受ける器具として「インシュレーター」(アップライト用、グランド用)、「敷板」(アップライト用)のご利用をお勧めします。
畳にアップライトピアノを設置する場合は敷板の使用をお勧めします。

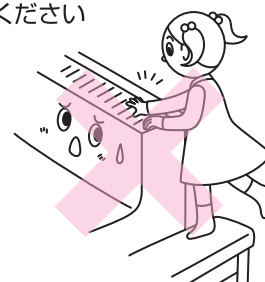
使用上の注意

⚠️ ピアノの上に物を置かないでください



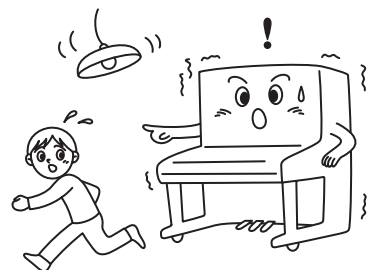
物が落ちて壊れたり、けがをする恐れがあります。

⚠️ ピアノの中に手を入れないでください



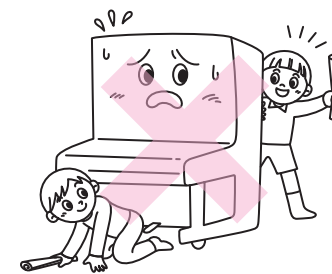
ピアノの中に手を入れると、内部の機構部品などで手指にけがをする場合があります。

⚠️ 地震のときにはピアノから離れてください



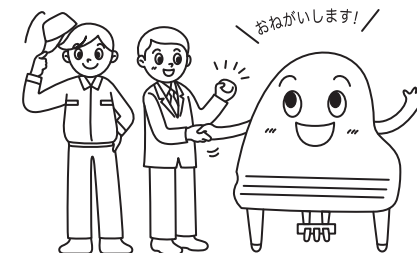
地震による強い揺れで、動いたり転倒することがあります。

⚠️ ピアノのまわりでの「遊び」は危険です



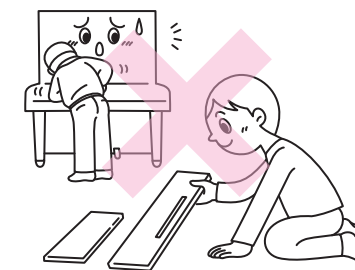
頭などをぶついたりしないように注意してください。また、ピアノの転倒もおこしかねません。

⚠️ 点検や移動は専門家にご依頼ください



ピアノは重量物です。移動の際に腰を痛めたり床を傷つけたりする恐れがあります。

⚠️ 点検の際、ピアノから外した部品類に触れないでください



点検の際には、ピアノ技術者が外した部品類やピアノの内部機構に触れないでください。

使用上の注意

⚠ 鍵盤蓋の開閉は両手で静かに行ってください



鍵盤蓋を開閉する際、自分または周りにいる他の人の手指を挟まないように注意してください。また、他の人が鍵盤蓋に触れて倒さないように注意してください。

⚠ ピアノに寄掛かったり腰掛けたりしないでください



ピアノが転倒したり、不意に動いたりしてけがをする恐れがあります。

⚠ 使わない時は屋根・鍵盤蓋を閉めておいてください



不測の事態で突然閉まった場合、手や体を挟む恐れがあります。

屋根の開閉は大屋根前を大屋根側に折りたたんで、大屋根ごと上げてください。



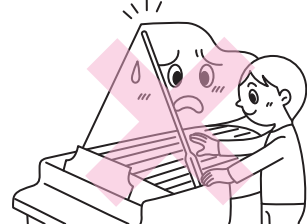
屋根の開閉時に手指を挟まないように注意してください。特にグランドピアノの屋根は重いので十分な注意が必要です。開閉は必ず大人が行ってください。

⚠ グランドピアノの屋根が開いている時は下に頭や体を入れないでください



万一、屋根が落下した場合に手指や体を挟んでけがをする恐れがあります。

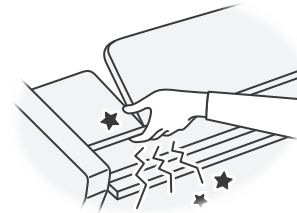
⚠ 正面から見て90°になる穴に入れて下さい



突上棒が受皿から外れて、屋根が落下する場合があります。他の人が周囲にいる場合は、他の人が突上棒に触れないように注意してください。

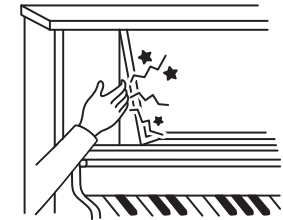
使用上の注意

⚠ グランドピアノの譜面台の取り扱いはずっくりと行ってください



譜面台の手前側で手指を挟む場合がありますので注意してください。

⚠ サウンドエスケープ仕様がついているピアノは、板の間に手を入れないように注意してください



ピアノの椅子についての注意

ピアノに付属している専用椅子以外の椅子は、各々の注意書きをご覧ください。

⚠ 椅子で遊んだり踏台に使わないでください



転倒したり壊れたりしてけがをする恐れがあります。

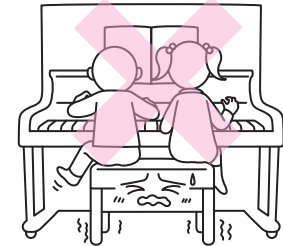
⚠ 高さ調整は椅子から降りて行ってください



上下する部分が急に動いて手を挟むなど、けがをする場合があります。

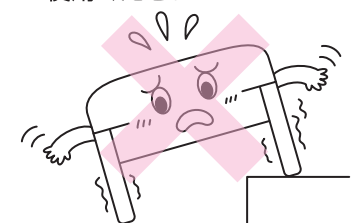
※椅子の脚はネジ止めになっており気候の変化によりゆるむ事があります。時々ネジのゆるみを確認してください。万一ネジが抜けた場合、転倒しけがをする恐れがあります。

⚠ 二人以上で腰掛けしないでください



腰掛けた時の姿勢や椅子に無理が生じ、けがや事故の原因になります。

⚠ 椅子は水平で平らな床面でご使用ください



平らでない床面で使用すると、不安定になりガタつきや転倒の原因になります。

ピアノをよりよい状態でお使いいただくためには

1. ピアノ調律技術者による定期的な点検調整
2. ご家庭での良好な環境
3. 日頃の正しい取り扱い・お手入れ

…が大切です。

納入点検調整について

ピアノをお買い上げいただきますと、納入後まもなく販売店よりピアノ調律技術者が訪問し以下の作業を行います。

- ♪ 納入したピアノの機能点検
- ♪ 納入したピアノの調律・調整
- ♪ ピアノのメンテナンス(保守・管理)とアフターサービスについてのご案内

ピアノには調律が必要です

ピアノは弦の振動で音を出す楽器ですので、他の弦楽器と同様にチューニング(調律)が必要です。ピアノの場合、他の弦楽器と比べるとはるかに強い力で弦が張られています(弦1本に約90kg、全体でおよそ20トンの張力)。

このためチューニングは、ギターなどと異なり調律技術者(調律師)と呼ばれる専門技術者が行います。また、調律の他にも、快いタッチを得るためのアクションやペダルの調整、美しい音を生むハンマーの調整が大切です。

これらの総合的なピアノの調律・調整を定期的に行い、使用による消耗や、温・湿度の影響による変化を正しく整え直すことは、ピアノを良い状態で長年ご使用いただくために欠かすことができません。

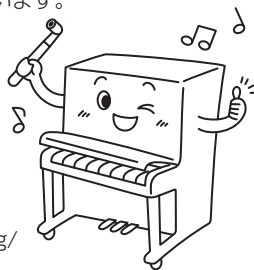
定期調律のおすすめ

定期的な調律・調整の実施をおすすめします。

島村楽器では定期調律・調整(有料)を承っております。また、定期調律の適正時期が参りましたらご案内のメールをお送りし、そのままネット予約が可能な「調律ネット予約サービス」もございます。詳しくは下記サイトをご覧ください。



<https://info.shimamura.co.jp/repair/piano/p-process-tuning/>



設置と取り扱いについて

置き場所について

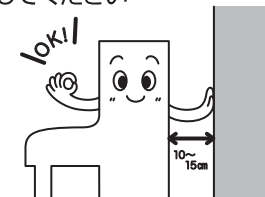
ピアノに適した環境とは

ご家庭内でのピアノの故障の多くは、湿度が影響したものです。過湿・過乾燥、そして急激な温度変化による結露は大敵です。

日本の気候は平均的にはやや多湿の状態です。下記を目安に、冷暖房装置および除湿器などを適切にお選びの上ご使用ください。

	冬期	夏期
温度	10℃~20℃	20℃~30℃
湿度	35%~65%	40%~70%

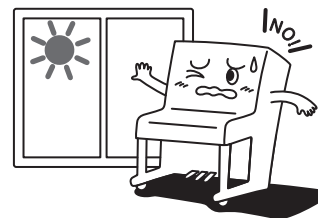
アップライトピアノは、壁から離して設置してください



10~15cm離すのが適当です。通気性を良くするとともに、音が抜けるようになります。

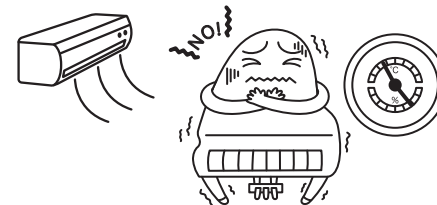
この様なところには置かないでください

長時間、直射日光の当たるところ



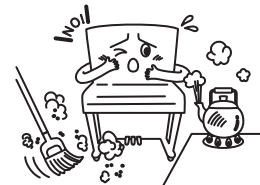
塗装面の変色・変質または部品の反り・割れなどの原因になります。

極端な温・湿度変化の起こるところ



1. 結露により金属部品にサビが生じやすくなります。
2. 各部の変化で調律が狂いやすくなります。
3. 塗装面の劣化、部品の反り・割れの原因になります。

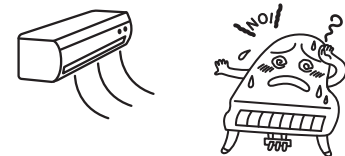
ほこりや湿気の多いところ



1. 鍵盤の動きが悪くなる原因になります。
2. ハンマーが湿気を吸って、音に悪影響が出る場合があります。
3. 弦などの金属部品にサビが生じやすくなります。

過乾燥なところ

(床暖房の上に直置きする場合や、暖房が直接当たるような場合)



1. 部品を組み立てているネジがゆるみ、雑音の原因になります。
2. 塗装面の劣化・部品の反り・割れの原因になります。
3. 弦を保持している部分がゆるみ、調律が狂いやすくなります。
4. 木材やフェルトが収縮し、メカの正常な動きを妨げます。

お取り扱いについて

殺虫剤や揮発性のものをピアノの上に置かないでください



- 家庭用塗料
 - 接着剤
 - ベンジン
 - 殺虫剤
 - マジック
 - 香水
 - マニキュア
 - 整髪料
 - ヘアスプレー
 - アルコール類
- など

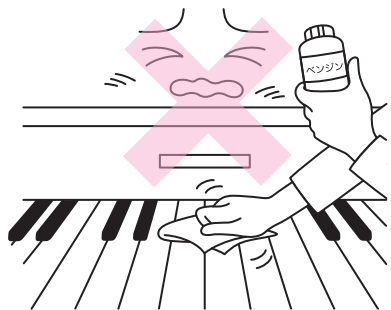
塗装面の変色・変質の原因になります。

塗装面にゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください

- 電気コード
 - プラスチック製の消しゴム
 - プラスチック製のおもちゃ
 - ビニール製品全般
- など

塗装面の変色・変質の原因になります。

鍵盤をアルコール・ベンジンなどで拭かないでください



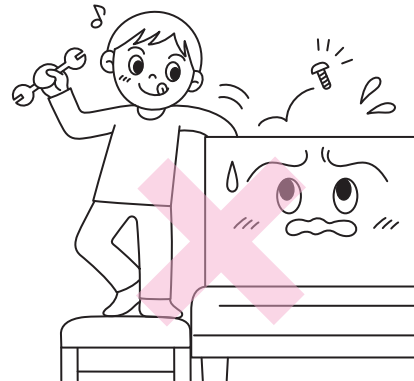
鍵盤の変質、ヒビ割れの原因になります。

ピアノの上に水の入った容器(花瓶・鉢など)を置かないでください



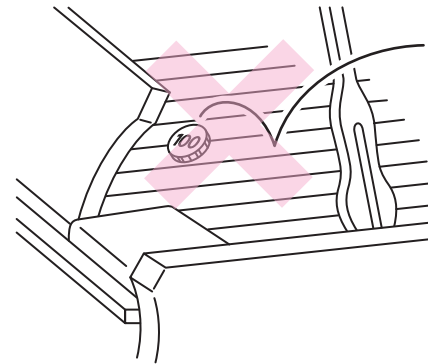
水はピアノの大敵です。万一こぼしたりしますとピアノの機能を損なうことがあります。

内部の部品に触れたり、内部を改造したりしないでください



ピアノの内部には、調整の必要な部品がたくさん入っています。破損したり、機能を損なったりすることがあります。

グランドピアノの鍵盤蓋の上に物を置いたまま蓋を開けないように注意してください



- クリップ
 - 硬貨
 - ボタン
 - ヘアピン
 - 鉛筆
 - 消しゴム
 - 小さなおもちゃ類
- など

鍵盤が動かなくなったり、雑音の原因になります。

ピアノを弾く時は手を清潔に爪は短く切りましょう



1. 汚れた手で弾くと鍵盤を汚すことになります。
2. 爪が長いと鍵盤の表面を傷つけ、汚れが付着しやすくなります。

ご使用後は鍵盤のお手入れをしましょう



☞ お手入れについては11ページをご覧ください。

ご家庭でのお手入れについて…こんな時には、

塗装面のお手入れ

表面にほこりが目立つ時	ピアノ用毛バタキ、または、柔らかい布で軽く拭きとってください。小さな砂ほこりでも、強く拭くと細かなスリ傷がついてしまうことがありますのでご注意ください。
表面に汚れが目立つ時	水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。 ピアノ用途以外の各種洗剤や外装手入れ剤は、塗装面を変質させヒビ割れなどの原因となりますので使用しないでください。
表面の艶が無くなってきた時	御購入の際に付属している外装手入れ剤を含ませた布でムラなく拭きあげてください。当社では、それぞれの塗装に適した外装手入れ剤をご用意しておりますのでご利用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ●鏡面艶出し塗装（黒／生地） ……ピアノ艶出ワックス ●ナチュラル半艶仕上げ塗装 ●オープンポア仕上げ塗装 ●艶消し仕上げ塗装（特注） ……ピアノ半艶ワックス

鍵盤のお手入れ

白鍵・黒鍵の汚れが目立つ時	水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。 外装の塗装面を拭いた布には、ワックスなどが付着していますので、鍵盤のお手入れには使用しないでください。 市販の各種洗剤やアルコール・ベンジンなどは、鍵盤表面のヒビ割れの原因となりますので使用しないでください。
白鍵の汚れが特にひどい時	御購入の際に付属しているクリーナーの使用をおすすめします。この際、黒鍵につかないようにご注意ください。 象牙（調）鍵盤には使用できません（変色の恐れがあります）。

音へのおもいやり

美しい音も、時には騒音になります

私達は、実にさまざまな音に囲まれて生活しています。それらの音が「快い音か、そうでないか」は周りの状況や聴く人の心理状態によって大きく左右されます。ピアノの音も同様、聴く人の状況によっては不愉快な音に聞こえる場合があることを理解することが、「音への思いやり」の第一歩です。

ピアノの音の大きさは？

音の大きさの感じ方は、周りの静かさによって大きく変わります。ピアノの音の大きさをご理解いただくために、私達の身近で発生するいろいろな音の大きさと比較してみました。

音の大きさ (db)	40	50	60	70	80	90	100
エアコン		■					
換気扇		■					
洗濯機			■				
掃除機			■	■			
ピアノ				■	■		
ステレオ				■	■		
テレビ			■	■			
犬の鳴き声						■	
子供の駆け足		■					
人の話し声			■				
		日常会話				大声	

〔生活騒音の状況と今後の課題（環境省）より〕

一方、騒音に関して地域および時間帯により区分される、以下のような環境基準があります。

		第1種住宅 専用地域	第2種住宅 専用地域	近隣商業 準工業地域	工業地域	単位はdb なお、第1種住宅専用地域以外で、学校、病院の周囲50m以内では当基準値より5db減が必要 (東京都公害防止条例より)
朝	AM 6 ~ AM 8	40	45	55	60	
昼	AM 8 ~ PM 7	45	50	60	70	
夕	PM 7 ~ PM 11	40	45	55	60	
夜	PM 11 ~ AM 6	40	45	50	55	

これらからもおわかりいただけるように、ピアノをご使用の際には、周りへの心づかいが必要です。

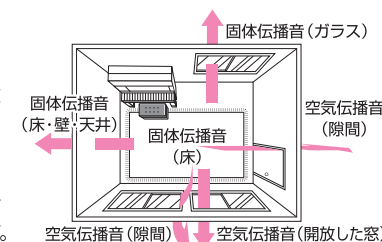
特に夜間のレッスンなどは、ご近所へ十分に配慮しましょう。

音はこうして伝わります

音を伝わり方で分けると

- 空気伝播音：ピアノの音がドアの隙間・開けられた窓などから空気を伝わって拡がる音
- 固体伝播音：ピアノの振動がキャスターを通じて床・壁などに伝わり、それから放射される音の2種類があります。

ご近所への心づかいを考えると、比較的通気性に富んだ日本式家屋では空気伝播音に、密閉度の高いアパート・マンションなどの集合住宅では固体伝播音に対する工夫が必要です。

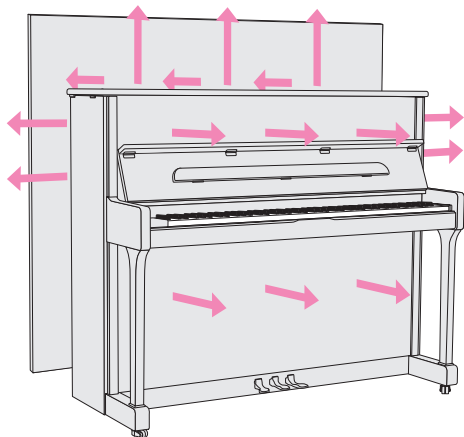


アップライトピアノは後方へ、グランドピアノは上下方へ音が伝わる構造です

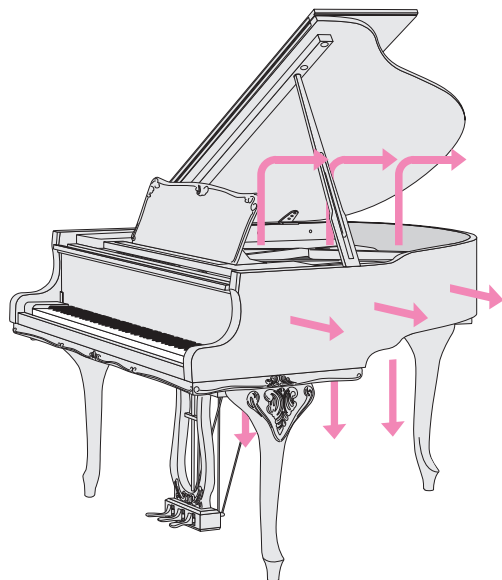
ピアノの種類によって、音の伝わり方にも特徴があります。

- ①アップライトピアノは、裏側から空気や壁を伝わって出る音が大きいのが特徴です。
- ②グランドピアノは、上下方向へ伝わる音が大きいのが特徴です。

●アップライトピアノの音の伝わり方



●グランドピアノの音の伝わり方



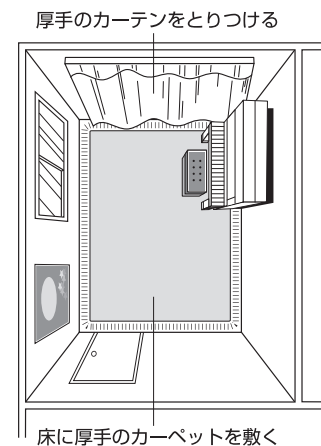
具体的な防音・遮音のヒント

●ピアノの設置場所は

- ・直接外壁に接しない場所
- ・お隣りを基準に考えてできるだけ遠いところ

●具体的なヒントあれこれ

- ・窓や雨戸を閉める
- ・カーテンは厚手のものを利用したり二重にする
- ・マフラー弱音機構を利用する
- ・床面に厚手のカーペットを敷く
- ・窓や扉の隙間にパッキングを詰める



●当社からのご提案

●後付消音ユニット

消音ユニットをピアノ内部に取り付けることによって、普段は普通のピアノとしてお使いいただけ、夜間などは必要に応じてヘッドフォンを通して内蔵された電子音源のピアノ音を聴くことができるようになります。(こちらをクリックして確認いただけます。)

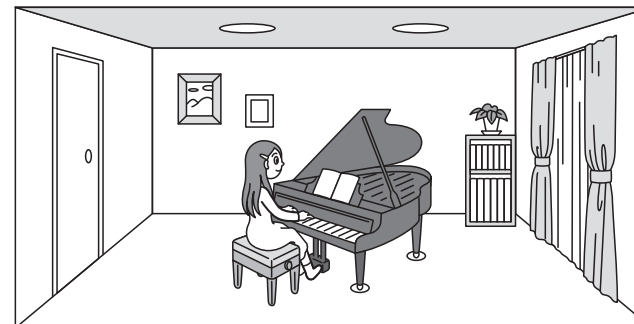
●防音室・防音カプセル等

防音室は、あなたのお部屋を優れた防音効果と快適な音場・音響までも備えた、理想的な音楽の空間に変えるサウンドルーム・システムです。防音カプセルは、お部屋の中に組み立てる防音スペースです。(こちらをクリックして確認いただけます。)

●遮音板

アップライトピアノ裏面、グランドピアノ下面に取り付けると、防音効果があります。(こちらをクリックして確認いただけます。)

その他、防音などの音に関するご相談は、お近くの島村楽器各店へお問い合わせください。



5 困ったな／故障かな?と思ったら

「故障かな?」「ピアノの状態がちょっとおかしい!」というときは、もう一度次の点をお調べください。
ご自身で対処が難しい場合は、[こちらをクリックし（リペアサイト）お問い合わせください。](#)

こんなとき	ご自身で対処できる例
音が止まらない	<p>■高音部だけではありませんか？ ピアノの高音側の2オクターブほどは、音の減衰が早いために止音機構がついていません。正常な状態です。</p>
音がこもっている	<p>■マフラー弱音装置がはたらいていませんか？ マフラーを解除してください。</p> <p>■ピアノにフルカバーを掛けていませんか？ 使用時にはフルカバーを外して、音を出やすくしてください。</p>
雑音が混じる	<p>■ピアノ周辺のインテリアから音が出ていませんか？ ピアノの音は空気や床や壁などを伝わって広がるため、ピアノ周辺の物を共振させ、共鳴を引き起こすことがあります。共鳴しているものを可能であれば固定または移動してみてください。共鳴しやすいもの〈一例〉 ○窓や扉のガラス、人形ケース ○照明器具 ○室内の壁、壁に掛けた装飾品○メトロノーム、絵画などの額縁</p>

こんなとき	技術者のみに対処できる例
鍵盤を弾いた後に鍵盤が戻らない	<p>■ピアノの周辺の温度と湿度は適切でしょうか？ 温度と湿度の変化により、ピアノ内部の状態に影響する場合があります。（※P8ご参照ください） 冷房、暖房、加湿、乾燥など、機械による急激な変化を避け、ゆっくりとピアノを適度な温度と湿度に慣らすようにしてください。 冷暖房機や湿度調整機などを使用しても改善しない場合などはご連絡下さい。</p>
水や飲み物をこぼしてしまった	<p>柔らかい布で水気をお拭き取りください。 ピアノの内側まで浸透してしまった場合はお早めにご連絡ください。 （※乾燥機を使用してピアノ本体を強制的に乾燥させるような行動はお控え下さい。 急激な変化によりパーツが変形、破損してしまう危険があります。）</p>
ピアノの内部に物を落としてしまった	<p>ピアノの内部に物が入ってしまうと、鍵盤の動きを妨げて音が出なくなったり、雑音の原因となることがあります。</p>

以上は、ピアノのトラブルの一部をご案内いたしました。

また、上記の症状が発生した場合でも原因・処置が異なることがあります。

ご不明な点・お気付きの点は、[こちらをクリックし（リペアサイト）お問い合わせください。](#)

6 保証とアフターサービス

お買い上げいただいたピアノを末永くご愛用いただくために、総合的なアフターサービスのシステムを整え、必要とされるサービスをご提供していますのでお気軽にお申し付けください。

- ♪ピアノに欠かせない調律・調整などのメンテナンス
- ♪レッスン・楽譜・テキスト・お手入れ用品・防音についてのご相談
- ♪ピアノの修理・移動、不要となった場合のご相談
- ♪コンサート情報などの音楽情報

これらのアフターサービスのお申し付けおよびご不明な点は、お近くの島村楽器にお問い合わせください。

保証について

- ♪保証書はよくお読みの上、大切に保管してください。
- ♪保証期間はお買上げ日より1年間です。（中古ピアノは6か月間）※ご契約時の条件により異なります。
- ♪ピアノ内部の改造などにより機能が損なわれた場合、保証期間中であってもサービスが有料となることがあります。また、機能の回復ができない場合もありますのでご注意ください。

修理を依頼される時は、下記フォームよりお問合せ下さい

[こちらをクリックし（リペアサイトお見積り・お問合せフォーム）からお問い合わせください。](#)

保証期間中の修理

保証書の規定に従って、島村楽器所属ピアノ技術者が修理いたします。お買上げの販売店または、ピアノセクションセンターにご連絡ください。

保証期間経過後の修理

上記フォームよりお問合せ下さい。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（性能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。ただし、代用品品はございません。